



新年ふれあいサロン「音楽と健康」菅野講師の絶妙な話とゲームに爆笑が・・・

神楽宮前地区社協だより
さ
さ
え
愛

第 15 号

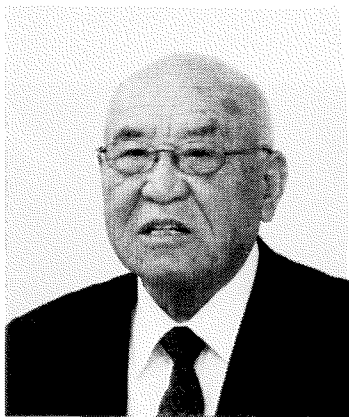
発行日
R04.03.01

発行責任者
神楽宮前地区
社会福祉協議会
会長 平原 博二

印刷
日章 印刷

明るく 楽しく 元気で 安心して 暮らせるまちづくりを !!

神楽宮前地区社会福祉協議会 会長 平原 博二



神楽宮前地区のみなさん お元気でしょうか。
日頃、神楽宮前地区社会福祉協議会、赤い羽根共同
募金会の活動に特段のご協力をいただき心から感謝
申し上げます。

令和2年から新型コロナの流行が始まり、令和3年の
ワクチン接種で一旦は落ち着いたように思われまし
たが、令和4年新年に入り急に全国でオミクロン株
が流行し感染が拡大してきました。

神楽宮前地区のみなさんコロナなんかに負けない
でください。

本年は、コロナ感染症に負けない日々の暮らしに
アクセントをつけた生活となるよう心掛けてくださ
い。

明るく 楽しく 笑顔と元気が一番です。

支えあう心が
愛情となり
福祉になる

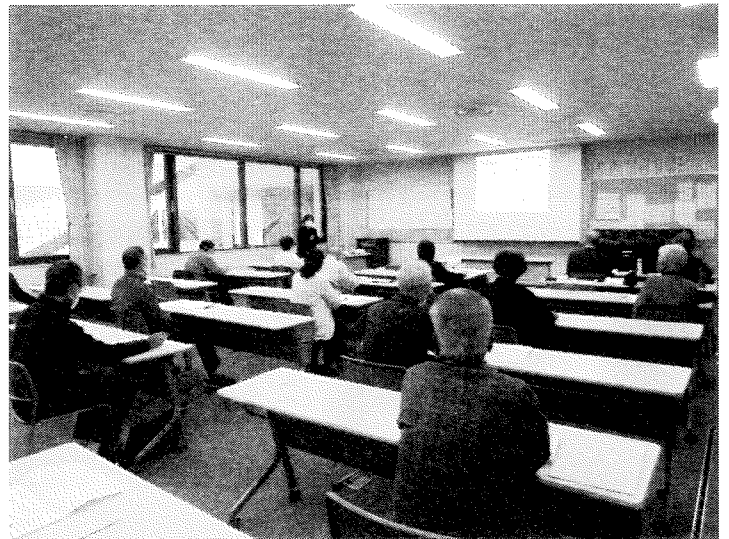
☆令和3年8月1日（日）
「敬老会説明会」

これまでの祝い金の受領方法等が最終年度となるため、急きょ各町内会のみなさんにお集まりいただき本年度の敬老祝い金の具体的な処理について説明会を開催しました。各町内会の年間事業計画にも影響する重大な事業でもあり熱心に質疑応答を行いました。



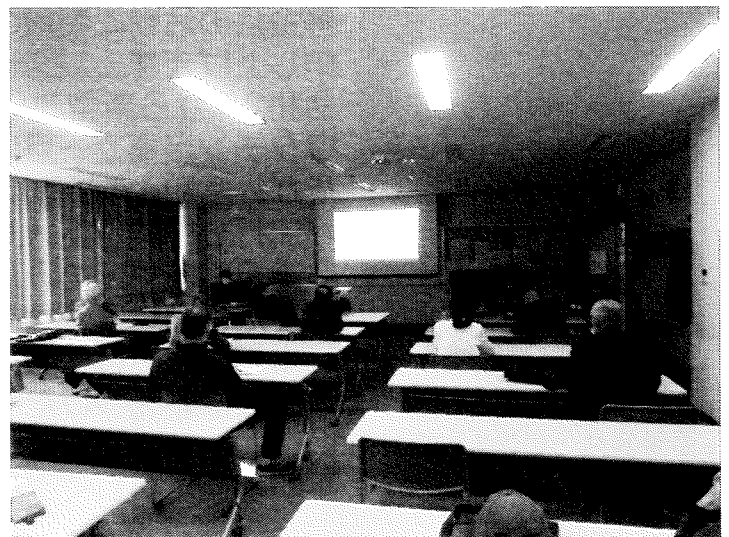
☆令和3年11月7日（日）
旭川赤十字病院出前講座

全国的に第5波のコロナ感染拡大も落ち着き始めた11月7日（日）に旭川日赤教育研修センターの感染管理認定看護師 看護師長 市川 ゆかりさんを講師にお招きし、コロナ感染拡大を防止するための重要な公衆衛生のお話をお聞きしました。コロナ感染状況、ワクチン接種状況、ワクチンの副作用と治療、コロナの後遺症、今後の対策など貴重なお話をお聞きすることが出来ました。一日も早くコロナに打ち勝ちたいものです。



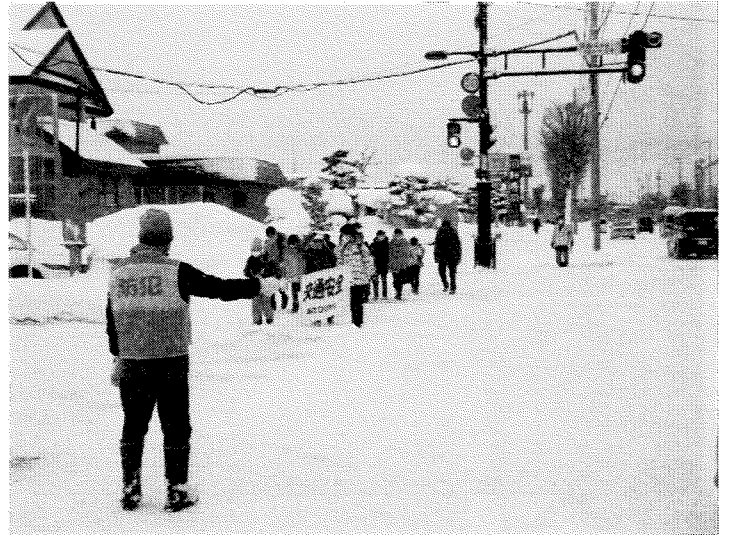
☆令和3年12月7日（火）
旭川医大派遣講座「糖尿病と合併症」

旭川医大 橋内 博哉先生を講師にお招きして今一番関心の高い「糖尿病と合併症」について講演していただきました。40数枚のパワーポイントを見ながら熱心に説明をお聞きし、健康であることへの感謝と今後の取組みについて話し合われました。



☆令和4年1月14日（金）
登校見守り活動

朝方降った雪が通学路を狭めていましたが、子どもたちは手に手に冬休みに挑戦した手作りの作品を持って学校へ向かいました。滑り止めの砂をまいた交差点では子どもたちのお母さんと一緒に交通安全の旗を振り「おはよう!! 元気に行ってらっしゃい!!」と呼びかけました。本年度も交通事故の犠牲者が発生しないよう心から祈らずにはられませんでした。



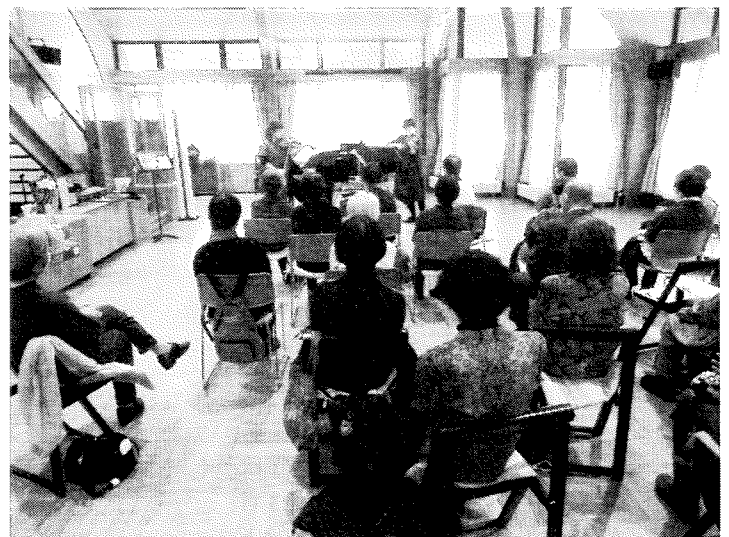
☆令和4年1月16日（日）
新年ふれあいサロン
(行事テーマ型サロン)

「音楽と健康」～認知症にならないために と題して音楽療法研究会の菅野 龍雄さんに講演をお願いしました。軽快で巧みな講演にあちこちから爆笑が沸き起こり、ピアノ伴奏による合唱やゲームで大いに盛り上がりました。やはり健康には笑いが一番のようです。



☆令和4年1月16日（日）
新年ふれあいサロン
音楽鑑賞会

1月16日午後から会場を木楽輪に移して音楽鑑賞会を開催しました。ヴァイオリンの加藤 夏江さんと溝田 令さん、ピアノの中島 ゆきえさんの三人によるコンサートで「エルガーの愛の挨拶」チャイコフスキーの名曲などを鑑賞しました。目の前で演奏する迫力と音色にしばし別世界に浸っておりました。





☆令和4年2月15日（火）
地域包括支援センター・健康研修

午前10時から精神保健福祉士の石田 知美さんが「コロナ禍における介護予防～心と体の健康を考える」と題して講演を、また後半は「体の健康について」と題して保健師の上林 里美さんに講演をしていただきました。
午前中半日の研修でしたが、コロナ感染拡大で関心も高く、コロナうつ病や筋力の急激な低下など身近なテーマに熱心に聞き入りました。
終わりに全員でロコトレに挑戦し、ご自分の体力の低下にため息をついていました。

4年度敬老会事業見直し(案) 要旨

- I、 祝い金
- 1、 対象者 77歳(4年4月1日から5年3月31日の間77歳到達者)
 - 2、 祝い金 5,000円(民生児童委員の協力で贈呈)
- II、 敬老会(祝賀行事)開催補助金(実施団体に対する補助金)
- 1、 敬老会出席者人数×2,000円(人数に応じて、市負担金抑制)
 - 2、 欠席者に対する記念品配布は、補助対象外(担い手負担軽減)
 - 3、 補助金加算
 - ① 敬老会開催において、下記の取り組みを合わせて実施する場合
 - a) 地域交流・世帯間交流(園児・児童等による歌、遊戯等)
 - b) 高齢者の健康増進(介護予防研修、講座、軽体操等)
 - c) 高齢者の生きがいづくり(趣味の作品展示、芸能発表等)
 - ② 敬老会参加人数に応じた加算額(実施団体に対する)

参加人数	加算金額
50人以下	5,000円
51人から100人	10,000円
101人から200人	20,000円
201人から300人	30,000円
301人から400人	40,000円

- III、 事業見直し(案)の背景
- 少子高齢化が進み、対象者が今後益々増加する中、各地区の役員の担い手不足、会場確保の難しさ、準備の負担や、欠席者への記念品配布の負担等の問題から、事業実施困難地区や、市負担金の増加や敬老会財源基金の減少などの課題から、今後の敬老会事業の在り方を検討しているものです。



掲載中の氏名、写真等の個人情報につきましては「社協だより」として限定使用するものであり、あらかじめご了承ください。

この社協だよりは、共同募金の助成金と住民会費により発行しております。